

平成22年3月期 第1四半期決算短信

平成21年8月11日

上場会社名 明治ホールディングス株式会社
 コード番号 2269 URL <http://www.meiji.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) IR広報部長
 四半期報告書提出予定日 平成21年8月13日
 配当支払開始予定日 —

上場取引所 東

(氏名) 佐藤 尚忠
 (氏名) 梅本 隆司

TEL 03-3273-3917

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	269,727	—	5,393	—	5,613	—	1,847	—
21年3月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	25.09	—
21年3月期第1四半期	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	714,781	286,488	39.0	3,788.20
21年3月期	—	—	—	—

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 278,949百万円 21年3月期 一百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	0.00	—	80.00	80.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

統合初年度の平成22年3月期につきましては、当期末時点の株主様に対して、1株当たり80円の期末配当を予定しております。平成23年3月期以降につきましては、中間期末を基準日とする配当(いわゆる中間配当)も実施する予定です。

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 連結累計期間	571,000	—	10,500	—	10,500	—	4,500	—	61.11
通期	1,143,000	—	25,000	—	25,000	—	11,500	—	156.17

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
詳細は、6ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

詳細は、6ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第1四半期 76,341,700株 21年3月期 一株

② 期末自己株式数 22年3月期第1四半期 2,705,151株 21年3月期 一株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第1四半期 73,639,600株 21年3月期第1四半期 一株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提条件その他の関連する事項については、6ページ【定性的情報・財務諸表等】 3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

2. 当社は平成21年4月1日に明治製菓(株)と明治乳業(株)が経営統合し両社を完全子会社とする共同持株会社として設立されました。当連結会計年度が第1期となるため、前期実績及び前年同四半期実績はありません。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

(1) 経営成績全般

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益 (円 銭)
第1四半期 連結累計期間	269,727	5,393	5,613	1,847	25.09
第2四半期 連結累計期間 業績予想値	571,000	10,500	10,500	4,500	61.11
第2四半期 連結累計期間 業績予想値進捗率(%)	47.2	51.4	53.5	41.1	—

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出や生産の一部に持ち直しの兆しはみられるものの、所得や雇用に対する不安が広がり節約志向が高まるなど、引き続き個人消費が低迷する厳しい状況で推移しました。

食品業界では、原材料価格の推移が引き続き不透明な状況の下、低価格商品へ需要がシフトする傾向も見られ、店頭における商品価格の引き下げ競争が顕著となりました。また、少子・高齢化や企業間競争の激化が進む国内市場での事業拡大は見込みづらいつとの判断から、海外進出や企業再編に取り組む動きも見られました。

乳業界では、牛乳消費の減少傾向が続くなか、原料乳価格引き上げへの対処や消費者の低価格志向・健康志向への対応を図るため、値ごろ感のある商品や脂肪を抑えた商品が相次いで発売されるなど、消費の維持に努める動きが多く見られました。

菓子業界では、市場全体の伸びが見込めない状況下、原材料によってはここ数年高止まりが続いており企業収益を圧迫しています。また、店頭ではPB商品の存在感の高まりもあり、価格競争が一層激化するなど、極めて厳しい環境が続いています。

薬品業界では、医療用医薬品においては、ジェネリック医薬品の使用促進策をはじめとした医療費抑制策の推進、また、農薬・動物薬においては、申請・登録審査基準の厳格化をはじめとした行政による規制・指導が強化されるなど、引き続き大変厳しいものとなりました。

かかる状況下、当第1四半期連結累計期間における売上高は2,697億27百万円、営業利益は53億93百万円、経常利益は56億13百万円、四半期純利益は18億47百万円となりました。これを第2四半期連結累計期間業績予想値に対する進捗率で見ますと、売上高は47.2%、営業利益・経常利益はそれぞれ51.4%、53.5%、四半期純利益は41.0%と、季節要因等によるセグメント間の差はあるものの、概ね当ホールディングスの計画に沿ったスタートとなりました。

今後も、新生「明治グループ」は、両社の良いところ・強いところをさらに伸ばし、これまでにない新たな「おいしさ・楽しさ・健康・安心」の世界を拓き、お客さまの日々の生活充実に貢献することを目指してまいります。また、本年5月に発表した2009-2011中期経営計画の達成に向け、さまざまな施策に全力で取り組んでまいります。

(2) セグメント別の概況 (連結)

(単位：百万円)

	乳製品	菓子・健康	医薬品	サービス他	合計
売上高	156,514	63,582	27,366	35,806	283,269
営業利益	5,414	△1,816	1,216	793	5,609

(注) 売上高、営業利益は、セグメント間の取引を消去する前の金額によっております。

経営統合により当連結会計年度が第1期となるため、前期実績及び前年同四半期実績はありません。したがって、セグメント別の概況については、下記のとおり業績予想値（第2四半期連結累計期間）に対する進捗状況にて説明致します。

乳製品は、当該期間は需要期であります。その中でも市乳を中心に全般的に好調な推移となり、売上高・利益とも順調に進捗しました。菓子・健康は、利益面で苦戦の形とはいえ、計画との大きな乖離はなく進捗しております。医薬品、サービス他については、売上高・利益とも概ね堅調に推移しました。

①乳製品

	第1四半期 連結累計期間 (単位：百万円)	第2四半期 連結累計期間 業績予想値進捗率(%)
売上高	156,514	49.0
営業利益	5,414	61.9

(注) 従来の明治乳業の「食品」セグメントに相当。

市乳（牛乳類・ヨーグルト等）、粉乳（コナミルク等）、練乳、バター、チーズ、アイスクリーム、飲料、栄養食品（流動食・ヴァーム等）、畜産品等の製造・販売。

《主な業績のポイント》

- ・売上高は、業務用バターやスポーツ飲料「ヴァーム」などが苦戦したものの、市乳では「明治おいしい牛乳」などの市乳類が堅調に、また新商品投入や値ごろ感に配慮した販売が奏功したヨーグルトが好調に推移しました。さらにアイスクリーム・粉乳・マーガリンなども好調だったことから、全体では順調に推移しました。
- ・営業利益も、高付加価値商品の増売や原材料コスト減効果が寄与し、順調に推移しました。

②菓子・健康

	第1四半期 連結累計期間 (単位：百万円)	第2四半期 連結累計期間 業績予想値進捗率(%)
売上高	63,582	44.8
営業利益	△1,816	—

(注) 従来の明治製菓の「フード&ヘルスケア」セグメントに相当。

菓子、砂糖および糖化穀粉等、健康食品（アミノコラーゲン等）、一般医薬品（イソジン等）等の製造・販売、スポーツクラブの経営等。

《主な業績のポイント》

- ・売上高は、健康の主力ブランドである「アミノコラーゲン」「イソジン」などが伸長し、菓子の主力であるチョコレートも堅調に推移しました。一方、ガム・キャンデー他のカテゴリや、輸出入および主力の海外連結子会社が苦戦しました。
- ・営業利益は、当第1四半期は厳しい結果となりましたが、第2四半期において新商品の投入や一層のコスト削減を推し進めることにより、第2四半期連結累計期間における計画達成に努めてまいります。

③医薬品

	第1四半期 連結累計期間 (単位：百万円)	第2四半期 連結累計期間 業績予想値進捗率(%)
売上高	27,366	48.4
営業利益	1,216	203.1

(注) 従来の明治製菓の「薬品」セグメントに、明治乳業の「その他」セグメント中の医薬品事業（大蔵製菓等）を加えたもの。医療用医薬品および農薬・動物薬等の製造・販売。

《主な業績のポイント》

- ・売上高は、主力薬「オリゼメート」の不振による農薬の苦戦と海外における為替の影響がマイナス要因となりましたが、ジェネリック医薬品が大幅に伸長し医療用医薬品は堅調に推移しました。
- ・営業利益の進捗状況については、第2四半期に研究開発費他の支払いが集中するため、第2四半期連結累計期間ではほぼ業績予想値どおりとなる見込みです。

④サービス他

	第1四半期 連結累計期間 (単位：百万円)	第2四半期 連結累計期間 業績予想値進捗率(%)
売上高	35,806	47.7
営業利益	793	141.8

(注) 従来の明治乳業の「サービス・その他」セグメントの医薬品以外に明治製菓の「ビル賃貸他」のセグメントを加えたもの。不動産、飼料、運送、倉庫、機械技術サービス、外食、保険代理店、リース等の事業。

《主な業績のポイント》

- ・売上高は、配合飼料価格の引き下げを行ったことにより飼料事業の売上減がありました。
- ・営業利益は、飼料事業が飼料穀物相場の落ち着きから順調に推移しました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 当期末の資産、負債、純資産の状況

①資産

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は7,147億81百万円となりました。うち流動資産は2,932億77百万円、固定資産は4,215億4百万円であります。

流動資産の主な内容といたしましては、受取手形及び売掛金1,475億55百万円、商品及び製品687億52百万円であります。

固定資産の主な内容といたしましては、有形固定資産3,341億86百万円、無形固定資産110億73百万円、投資その他の資産762億44百万円であります。

②負債

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は4,282億93百万円となりました。うち流動負債は3,010億63百万円、固定負債は1,272億30百万円であります。

流動負債の主な内容といたしましては、支払手形及び買掛金952億75百万円、短期借入金667億2百万円、コマーシャル・ペーパー345億円であります。

固定負債の主な内容といたしましては、社債550億円、長期借入金365億11百万円であります。

③純資産

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は2,864億88百万円となりました。なお、自己資本比率は39.0%、1株当たり純資産額は3,788.20円となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

区 分	当第1四半期 連結累計期間 (百万円)
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,521
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,141
財務活動によるキャッシュ・フロー	954
現金及び現金同等物に係る換算差額	152
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△512
現金及び現金同等物の期首残高	14,429
新規連結による現金及び現金同等物増加額	228
現金及び現金同等物の四半期末残高	14,145

営業活動によるキャッシュ・フローは、売上債権の減少等により55億21百万円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出等により、71億41百万円の支出となりました。

これにより、フリー・キャッシュ・フロー（営業活動によるキャッシュ・フローと投資活動によるキャッシュ・フローの合計額）は16億19百万円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、金融債務の増加等により9億54百万円の収入となりました。

これらの結果、当第1四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物は141億45百万円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期が概ね計画通りに進捗しているため、平成21年5月14日の「平成22年3月期の業績予想及び経営方針」で公表いたしました連結業績予想数値は変更していません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①簡便な会計処理

（一般債権の貸倒見積高の算定方法）

当第1四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が連結子会社の前事業年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、連結子会社の前事業年度末に算定した貸倒実績率等を使用して一般債権の貸倒見積高を算定しております。

（棚卸資産の評価方法）

当第1四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、連結子会社の前事業年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算出する方法によっております。

棚卸資産の簿価切下げに関して収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行っております。

（固定資産の減価償却費の算定方法）

一部の連結子会社においては、固定資産の年度中の取得、売却又は除却等の見積りを考慮した予算を策定しており、当該予算に基づく年間償却予定額を期間按分して算定する方法によっております。

また、一部の連結子会社においては、定率法を採用している資産について、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

②四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

当社は平成21年4月1日に明治製菓㈱と明治乳業㈱が経営統合し両社を完全子会社とする共同持株会社として設立されました。当連結会計年度が第1期となるため、該当事項はありません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

当第1四半期連結会計期間末
 (平成21年6月30日)

資産の部		
流動資産		
現金及び預金		14,250
受取手形及び売掛金		147,555
商品及び製品		68,752
仕掛品		2,826
原材料及び貯蔵品		30,527
その他		29,748
貸倒引当金		△384
流動資産合計		293,277
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物		302,193
減価償却累計額		△159,630
建物及び構築物(純額)		142,562
機械装置及び運搬具		398,965
減価償却累計額		△292,989
機械装置及び運搬具(純額)		105,975
工具、器具及び備品		56,170
減価償却累計額		△44,945
工具、器具及び備品(純額)		11,225
土地		67,311
リース資産		2,751
減価償却累計額		△486
リース資産(純額)		2,264
建設仮勘定		4,846
有形固定資産合計		334,186
無形固定資産		
のれん		1,279
その他		9,794
無形固定資産合計		11,073
投資その他の資産		
投資有価証券		48,253
その他		29,233
貸倒引当金		△1,243
投資その他の資産合計		76,244
固定資産合計		421,504
資産合計		714,781

(単位：百万円)

当第1四半期連結会計期間末
(平成21年6月30日)

負債の部	
流動負債	
支払手形及び買掛金	95,275
短期借入金	66,702
1年内償還予定の社債	20,000
コマーシャル・ペーパー	34,500
未払法人税等	3,415
賞与引当金	6,300
返品調整引当金	237
売上割戻引当金	3,867
その他	70,764
流動負債合計	301,063
固定負債	
社債	55,000
長期借入金	36,511
退職給付引当金	14,110
役員退職慰労引当金	600
その他	21,008
固定負債合計	127,230
負債合計	428,293
純資産の部	
株主資本	
資本金	30,000
資本剰余金	98,900
利益剰余金	158,377
自己株式	△9,457
株主資本合計	277,820
評価・換算差額等	
その他有価証券評価差額金	6,146
繰延ヘッジ損益	△2,835
為替換算調整勘定	△2,181
評価・換算差額等合計	1,129
少数株主持分	7,538
純資産合計	286,488
負債純資産合計	714,781

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
売上高	269,727
売上原価	182,574
売上総利益	87,153
販売費及び一般管理費	81,759
営業利益	5,393
営業外収益	
受取利息	11
受取配当金	619
固定資産賃貸料	345
雑収入	195
営業外収益合計	1,172
営業外費用	
支払利息	629
持分法による投資損失	11
雑損失	312
営業外費用合計	952
経常利益	5,613
特別利益	
固定資産売却益	142
その他	47
特別利益合計	189
特別損失	
固定資産廃棄損	665
その他	215
特別損失合計	880
税金等調整前四半期純利益	4,922
法人税等	3,019
少数株主利益	55
四半期純利益	1,847

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

当第1四半期連結累計期間
 (自 平成21年4月1日
 至 平成21年6月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	4,922
減価償却費	9,085
のれん償却額	107
有形固定資産除却損	480
投資有価証券評価損益 (△は益)	0
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	18
賞与引当金の増減額 (△は減少)	2,345
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△66
受取利息及び受取配当金	△631
支払利息	629
持分法による投資損益 (△は益)	11
有形固定資産売却損益 (△は益)	△142
売上債権の増減額 (△は増加)	8,536
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△2,562
仕入債務の増減額 (△は減少)	△2,248
その他	△8,928
小計	11,556
利息及び配当金の受取額	722
利息の支払額	△530
法人税等の支払額	△6,227
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,521
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△6,326
無形固定資産の取得による支出	△593
有形及び無形固定資産の売却による収入	250
投資有価証券の取得による支出	△136
その他	△335
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,141
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	25,095
コマーシャル・ペーパーの増減額 (△は減少)	△4,500
長期借入金の返済による支出	△1,660
社債の償還による支出	△15,000
自己株式の増減額 (△は増加)	△37
配当金の支払額	△2,547
少数株主への配当金の支払額	△144
その他	△249
財務活動によるキャッシュ・フロー	954
現金及び現金同等物に係る換算差額	152
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△512
現金及び現金同等物の期首残高	14,429
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	228
現金及び現金同等物の四半期末残高	14,145

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

当第1四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日）

	乳製品 (百万円)	菓子・ 健康 (百万円)	医薬品 (百万円)	サービス 他 (百万円)	計 (百万円)	消去 又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	155,706	61,869	26,869	25,282	269,727	—	269,727
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	808	1,713	496	10,523	13,542	(13,542)	—
計	156,514	63,582	27,366	35,806	283,269	(13,542)	269,727
営業利益又は営業損失 (△)	5,414	△1,816	1,216	793	5,609	(215)	5,393

(注) 1 事業区分の方法

事業区分の方法は、内部管理上採用している区分によっております。

2 各事業区分の主要製品

事業区分	主要製品
乳製品事業	市乳、粉乳、練乳、バター、チーズ、アイスクリーム、飲料、畜産品等
菓子・健康 事業	菓子、砂糖及び糖化穀粉等、健康食品、薬局・薬店向け医薬品等、スポーツクラブの 経営等
医薬品事業	医薬品及び農畜薬等
サービス他 事業	不動産、飼料、運送、倉庫、機械技術サービス、外食、保険代理店、リース等

[所在地別セグメント情報]

当第1四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日）

全セグメントの売上高の合計額に占める「本邦」の割合が90%を超えているため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

[海外売上高]

当第1四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日）

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第1四半期連結会計期間（自平成21年4月1日 至平成21年6月30日）

当社は平成21年4月1日に明治製菓(株)と明治乳業(株)が経営統合し両社を完全子会社とする共同持株会社として設立されました。この結果、当第1四半期連結会計期間末において資本金は30,000百万円、資本剰余金は98,900百万円、利益剰余金は158,377百万円となっております。なお、発行済株式数は76,341千株となっております。